

嘉全二万七十九号

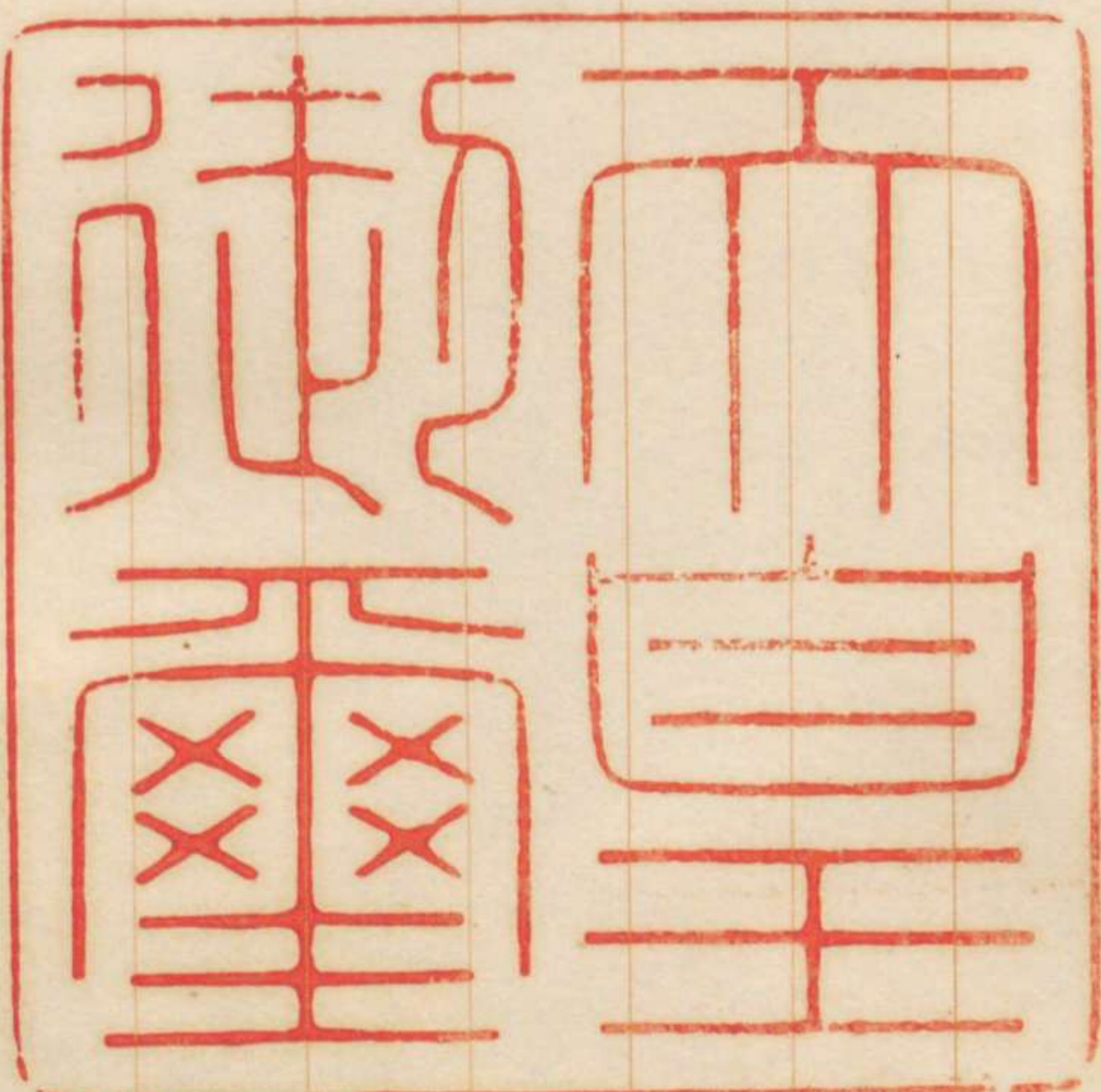


内



朕滿洲韓國樺太駐劄陸軍部隊給與令ヲ
裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸仁



明治三十九年十月二十九日

陸軍大臣 寺内正毅

勅令第二百七十九號

滿洲韓國樺太駐劄陸軍部隊給與
令

第一條 滿洲韓國樺太ニ駐劄スル陸軍
部隊及之ニ屬スル軍人軍屬ノ給與ハ
本令ニ依ル軍人軍屬以外ノ者ニシテ
本令中特ニ定メタル者ノ給與亦同シ
本令ニ明文ナキモノハ陸軍給與令ノ
規定ヲ適用ス

第二條 軍隊外ノ委任經理ニ係ル給與

ニ関シテハ陸軍給與令ノ規定ニ拘ラ
ズ陸軍大臣之ヲ定ム

第三條 傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタ
ル者ノ俸給又ハ給料ハ之ヲ減給セサ
ルヲ例トス

第四條 准士官以上營外居住下士以下
及軍屬ニハ俸給又ハ給料ノ十分ノ三
營内居住下士以下ニハ給料ノ十分ノ
五ヲ増給ス但シ傭人ニ在リテハ陸軍
大臣ノ定メタル者ニ限ル

豫備役、後備役又ハ補充兵役ニ在リテ
勤務演習ノ爲召集中ノ者ニハ増給ヲ
給セズ

第五條 軍人軍屬ニハ糧食ヲ給ス具ノ
區分ハ左ノ各號ニ依ル但シ雇員傭人
ニ在リテハ陸軍大臣ノ定メタル者ニ
限ル

一 匪徒鎮壓等ノ爲行動ヲ爲ス場合
ニハ現品ヲ所屬部隊ニ交付ス
二 軍隊下士以下ニ在リテハ現人員

二 應シ定額ヲ該隊ニ交付ス
 三 傷痍疾病ノ爲入院中ノ者ニ在リ
 テハ現人員ニ應シ定額ヲ病院ニ
 交付ス
 四 未決監既決監ニ入監中ノ者ニ在
 リテハ現人員ニ應シ定額ヲ監獄
 ニ交付ス監獄ニ於テ營倉處分執
 行中ノ者亦同シ
 五 第一號乃至第四號ニ屬セザル者
 ニハ食料ヲ給ス但シ時宜ニ依リ

現品ヲ給
 軍人軍屬以外
 スルノ必要アル
 項ニ準シ之
 ヲ給スルコトヲ得
 第六條 馬糧ハ現品ヲ給ス
 尙馬本
 分者ノ馬匹ニ係ル馬糧ハ代金ヲ以テ
 給スルコトヲ得
 第七條 尙馬本分者ノ馬匹ニ係ル繋畜
 料ハ之ヲ停止シ該馬匹ノ繋畜ニ要ス
 ル諸費ハ官費トス



ニ應シ定額ヲ該隊ニ交付ス

三 傷痍疾病ノ為入院中ノ者ニ在リ
テハ現人員ニ應シ定額ヲ病院ニ
交付ス

四 未決監既ニ入監中ノ者ニ在
リテハ現人員ニ應シ定額ヲ監獄
ニ交付ス
獄ニ於テ營倉處分執
行中ノ者

五 第一號
ニハ合
號ニ屬セサル者
但シ時宜ニ依リ



現品ヲ給スルコトヲ得

軍人軍屬以外ノ者ニシテ糧食ヲ給與
スルノ必要アルトキハ前項ニ準シ之
ヲ給スルコトヲ得

第六條 馬糧ハ現品ヲ給ス但シ東馬本
分者ノ馬匹ニ係ル馬糧ハ代金ヲ以テ
給スルコトヲ得

第七條 東馬本分者ノ馬匹ニ係ル繋畜
料ハ之ヲ停止シ該馬匹ノ繋畜ニ要ス
ル諸費ハ官費トス

内
閣

馬匹手當ハ内地ニ歸還シタル上之ヲ
給シ馬匹購買料及馬匹保續料ハ之ヲ
支給セム

第八條 馬匹ニ係ル裝蹄剔毛具ノ他器
具ノ保續等ハ總テ實費トス

第九條 下士以下所要ノ被服及駐劄部
隊備附ノ被服ハ現品ヲ以テ交付シ具
ノ保續ニ係ル諸費ハ實費トス

第十條 軍屬ニハ陸軍大臣ノ定メタル
者ニ限り所要ノ被服ヲ支給又ハ貸與

ス但シ現品ニ代ハ被服料ヲ給スルコ
トヲ得

第十一條 軍人軍屬ニハ必要ニ應シ宿
舎及家具ヲ貸與シ防寒用薪炭ヲ支給
スルコトヲ得

第十二條 軍隊ノ消耗品ハ總テ現品ヲ
給ス

第十三條 軍隊ノ陣營具ハ初度現品ヲ
備附ケ具ノ保續ニ要スル費用ハ實費
トス

第十四條 傷病ヲ受テ又ハ疾病ニ罹リ
タル軍人軍屬ノ藥餌ハ總テ官給ス軍
人軍屬以外ノ者ト雖時宜ニ依リ官給
スルコトヲ得

第十五條 軍人軍屬死亡シ官ニ於テ理
葬スルトキハ其ノ埋葬又ハ遺骨遺物
等輸送ニ係ル諸費ハ官費トス
軍人軍屬以外ニシテ前項ノ必要アル
トキ亦同シ

第十六條 駐劄部隊ニ屬スル者ニ非サ

ルモ公務ヲ以テ駐劄地ニ往復スル軍
人軍屬ノ給與ハ本令ヲ適用ス但シ第
四條ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 糧食及馬糧ノ定額、本令ニ依
リ給與スル物件ノ種類、員數、保存期限
並給與ノ支給區分、停止及減額ハ陸軍
大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ明治三十九年十一月十六日ヨリ之
ヲ施行ス

明治三十二年勅令第二百二十五號ハ之
ヲ廢止ス

内

附